基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科目名	担当者
基礎看護学援助論Ⅶ （統合する援助技術）	専任教員

年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	授業の種類
2 年次・前期	30 時間／1 単位／15 回	講義 ・ 演習

授業の概要と達成目標

＜概要＞

症状をもつ対象に対して、知識、技術、態度を統合し、看護を実践するための基礎的能力を学ぶ。特に、呼吸・循環機能、消化・吸収・栄養・代謝機能、内部環境調整・身体防御機能に症状をもつ看護について学ぶ。

＜達成目標＞

1. 何らかの症状を持っている対象に必要な情報収集とアセスメントする。
2. アセスメントをもとに援助技術を実践する。
3. 実践した援助技術を評価する。

授業回数	授業内容	教授方法	備考
1	症状をもつ対象への看護援助	講義	
2	呼吸・循環機能障害における主要症状と看護①	グループワーク	
3	呼吸・循環機能障害における主要症状と看護②	グループワーク	
4	呼吸・循環機能障害における主要症状と看護③	グループワーク	
5	呼吸・循環機能障害における主要症状と看護④	グループワーク	
6	呼吸・循環機能障害における主要症状と看護⑤	講義・グループワーク	
7	消化・吸収・栄養・代謝機能障害における主要症状と看護①	グループワーク	
8	消化・吸収・栄養・代謝機能障害における主要症状と看護②	グループワーク	
9	消化・吸収・栄養・代謝機能障害における主要症状と看護③	グループワーク	
10	消化・吸収・栄養・代謝機能障害における主要症状と看護④	グループワーク	
11	内部環境調整・身体防御機能障害における主要症状と看護①	講義・グループワーク	
12	内部環境調整・身体防御機能障害における主要症状と看護②	グループワーク	
13	内部環境調整・身体防御機能障害における主要症状	グループワーク	

	と看護③		
14	内部環境調整・身体防御機能障害における主要症状と看護④	グループワーク	
15	終講試験		

使用テキストと参考文献	評価方法
1. 症状別看護技術　　ヌーヴェヒロカワ 2. Ｎｅｗ看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント　　Gakken 3. 症状・徴候別アセスメントと看護ケア 医学芸術社	１．観察法